

Seigoro マニュアル

Word 文書に記述した正誤問題を、Moodle 形式の XML ファイルに変換します。XML ファイルを Moodle の小テストのカテゴリーにインポートすることにより、複数の問題を一括して作成することができます。

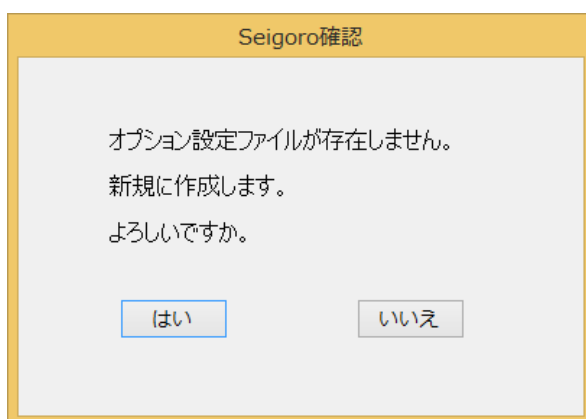
- Word 文書に貼り付けた画像を自動的に変換します。
- 外部ファイルを利用して、画像、音声およびビデオを挿入することができます。
- Moodle に掲載した際のイメージを擬似的に再現する HTML ファイルも同時に作成することができます。

1. Seigoro の起動

1. Seigoro.exe をダブルクリックして起動させます。






2. 初回のみ、次のダイアログが表示されます。「はい」をクリックしてください。



3. アプリケーションの画面が表示されます。



-  オプションの設定画面を開きます。
-  オンライン・ヘルプを表示します。
-  バージョンなどを表示します。

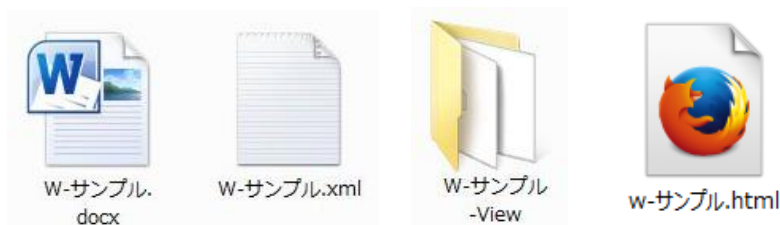
2. Word ファイルから XML ファイルへの変換

1. 正誤問題を記述した Word ファイルを Seigoro のウィンドウ内にドラッグ&ドロップします。



2. Moodle の小テストのカテゴリにアップロードできる XML ファイルが作成され、元のファイルと同じ場所に保存されます。

2.1 作成元ファイルと作成されるファイル



w-サンプル.docx : 正誤問題を記述した Word ファイル

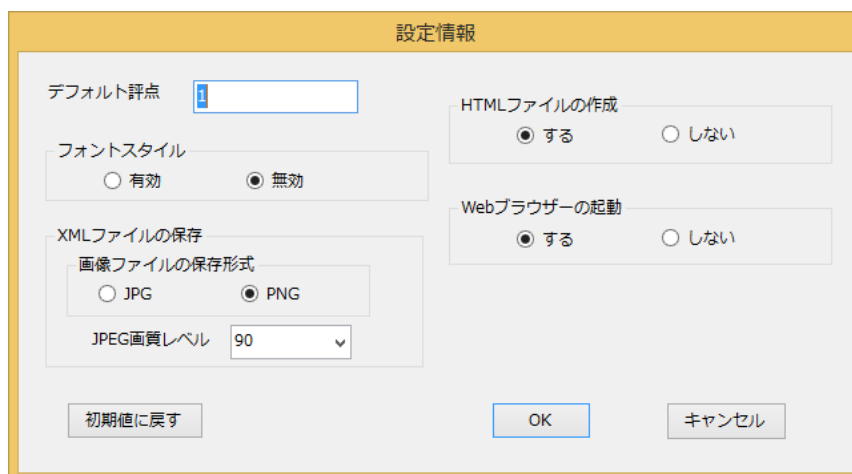
w-サンプル.xml : Moodle XML 形式ファイル,

w-サンプル-View : ビューアー表示用のファイルを含むフォルダ

w-サンプル.html : ビューアー表示用ファイル

2.2 オプション設定情報の表示とオプションの指定

変換時の条件などを指定することができます。各項目の詳細については、5. を参照してください。



2.3 HTML ビューアー機能による閲覧画面

小テストの問題を Moodle に掲載した状態を疑似的に再現するビューアー機能で、変換結果を確認することができます。

Moodleの小テスト問題一括変換ツール - 正誤問題

小テストナビゲーション

1 2

フィードバックの表示

表示 隠す

問題1
最大評点 1

問題名: 問題1
ROMは、パソコンの電源を切ると、記憶内容が消えてしまうメモリである。
1つ選択してください

x

問題2
最大評点 1

問題名: 問題2
USBは、パソコンと周辺機器をつなぐインターフェース規格のひとつである。
1つ選択してください

x

3. Word で正誤問題を記述する際の書式

行頭の空白，タブは取り除いて処理します。

制御記号は**英数モード（半角）**で入力してください。

行頭に // のある行はコメント行となります。

※ 以下で用いる「行」は，通常は「段落」と呼ばれる「改行までのテキスト」を指します。

3.1 問題の記述

行頭に「問題」がある行以降を問題とみなします。

3.2 問題名の記述

問題の開始行のテキストが問題名になります。

問題名はそれぞれ異なるものにしてください。

3.3 問題文

問題名の次の行から，次の「問題」が出現するまでを問題文とみなします。

コメントおよび末尾の空白行は無視されます。

3.4 問題の記述

3.4.1 問題テキストと正誤の指定

問題テキストを記述します。問題テキストの前に○×を書いて正誤を指定します。

○×のいずれでもない場合は，正と見なします。

例) ×ROMは、パソコンの電源を切ると、記憶内容が消えてしまうメモリである。

○USBは、パソコンと周辺機器をつなぐインタフェース規格のひとつである。

USBは、パソコンと周辺機器をつなぐインタフェース規格のひとつである。

3.4.2 個別フィードバック

問題文の後に、行頭が :: で始まる行を2つ置いて、○に対するフィードバックと×に対するフィードバックを記述します。

例) ×ROMは、パソコンの電源を切ると、記憶内容が消えてしまうメモリである。

:: ROMはRead Only Memoryの略で、電源を切っても記憶内容は消えません。

:: 正解です。

一方のフィードバックのみを指定することはできません。○に対するフィードバックだけを指定する場合は、×に対するフィードバックの行は :: 以下を空欄としてください。逆に、×に対するフィードバックだけを指定する場合は、○に対するフィードバックの行の :: 以下を空欄としてください。

3.4.3 全般に対するフィードバック

全般に対するフィードバックは、問題文の後に、行頭の [[と]]でくくって記述します。

例) [[

図で示されているのはIEEE1394ケーブルです。(iLinkまたはFireWireケーブルとも呼ばれます。)

]]

4. マルチメディアを利用したデータの作成

4.1 貼り付け画像の利用

問題文と全般に対するフィードバックに画像を挿入することが可能です。

図は、独立した行(段落)に挿入し、文字列の折り返し設定は「行内」としててください。(「行内」以外の折り返し設定の図は無視されます。)

ただし、図形(テキストボックスを含む)とワードアートは利用できません。

また、1行内に複数の図を貼りこむことはできません。(複数の画像は、キャプチャするなどして、一つの画像として貼り付けてください。)

Excel形式と同等な {{ kiwifruit-s.jpg "果物の写真" }} という形の指定も許す。

例) 問題 1

× 図に示すケーブルは、USBケーブルである。



変換結果を HTML ビューアー機能で表示した例を示します。

小テストナビゲーション 1 2	問題1 最大評点 1	問題名: 問題1 図に示すケーブルは、USBケーブルである。  1つ選択してください <input type="radio"/> ○ <input checked="" type="radio"/> ● ×
フィードバックの表示 表示 隠す		

4.2 画像、音声および動画の挿入

問題文と全般に対するフィードバックに、画像、音声およびビデオを挿入することができます。

{{ }}タグの中にファイル名と ALT 情報を記入して、メディアファイルの挿入箇所を指定します。

ALT 情報は省略可能です。ファイル名と ALT 情報の間には空白を入れてください。

例)

画像ファイル： {{benzoic_acid.png “画像”}}
音声ファイル： {{ hy26.mp3 ”音声”}}
ビデオファイル： {{waterfall.mp4 ”ビデオ”}}
YouTube： {{ djw7oZXe8zs “YouTube”}}

メディアファイルの種類は、拡張子によって自動的に判断されます。
メディアファイルは、通常は Word ファイルと同じフォルダ内に置きます。
下の階層に置く場合は、フォルダ名の後に¥を付けて指定します。

例) {{movie¥waterfall.mp4 “ビデオ”}}

5. オプションの設定

① デフォルト評点

各設問に対する最大評点のデフォルト値を設定します。

② フォントスタイル

文字飾りの変換を有効にするか否かを指定します。

対応している文字飾りは、下付き、上付き、斜体、太字、下線、取り消し線、文字の色のみです。文字の色として、「標準の色」または「その他の色」ではなく「テーマの色」を使用する場合は、デフォルトのテーマと配色を利用している場合にのみ対応しています。その他のテーマと配色を利用している場合は、色が正しく再現されません。

③ 画像ファイルの保存形式

Word に貼り付けた画像を画像ファイルに変換する際の形式を JPEG または PNG から選択します。JPEG の場合は画質を指定します。

④ HTML ファイルの作成

変換終了後に、小テストの問題を Moodle に掲載した状態を疑似的に再現して表示するための HTML ファイルを同時に作成するかしないかを指定します。

⑤ Web ブラウザーの起動

変換終了後に Web ブラウザーを起動して、作成した HTML ファイルを表示するか否かを指定します。

※「初期値に戻す」を選ぶと、すべてのオプションの設定を最初の状態に戻すことができます。

6. 注意事項

Seigoro による Word ファイルの変換を行う際、開かれている Word ファイルがあると、自動的に閉じられるので注意してください。

Copyright © 2015 Rubia Lab.

Seigoro 1.0 — 正誤問題変換ツール

配布元 Eduplay Co. Ltd.

本プログラムの機能は、富山大学総合情報基盤センターが公開・配布している「正誤問題変換ツール」と同一です。

本プログラムの使用に際し、配布元が対価を求めることはありません。

配布元による許可なしに本プログラムを再配布することを禁じます。

Copyright © 2015 Information Technology Center, University of Toyama &
Rubia Lab.